

さあ、保険の新次元へ。



2022年11月14日

各位

株式会社T & Dホールディングス
代表取締役社長 上原 弘久
(コード番号：8795 東証プライム)

2023年3月期 通期連結業績予想の修正および
海外関連会社における評価性損失等の計上に関するお知らせ

T & D保険グループの株式会社T & Dホールディングス(社長 上原 弘久、以下「当社」)は、2023年3月期通期の連結業績予想を修正いたしました。

また、2023年3月期第3四半期連結会計期間(2022年10月1日～2022年12月31日)において、海外関連会社における評価性損失等を計上する見込みとなりましたので、あわせて、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2023年3月期 通期連結業績予想の修正

(1) 修正の内容

(単位：百万円)

	経常収益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益	グループ 修正利益
前回発表予想(A)	2,390,000	84,000	17,000	30円30銭	106,000
今回発表予想(B)	2,780,000	△100,000	△160,000	△286円33銭	90,000
増減額(B-A)	390,000	△184,000	△177,000	——	△16,000
増減率	16.3%	—	—	——	△15.1%
(ご参考)前期実績	2,614,377	57,029	14,180	24円39銭	39,264

(注)前回発表予想(A)は、2022年5月13日に公表した予想数値であります。

(2) 修正の理由

「経常収益」は、主に外貨連動型保険の販売好調による保険料等収入の増加を見込み、修正しました。

「経常利益」「親会社株主に帰属する当期純利益」は、主に当社持分法適用関連会社であるバミューダ籍保険持株会社 FGH Parent, L.P.(以下「フォーティテュード社」)における米国金利上昇等に伴う会計上の一時的な評価性損失等を反映しました。

「グループ修正利益」は、主に新型コロナウイルス関連の支払増加および下期以降の為替ヘッジコストのさらなる増加等を勘案し修正しました。

※「グループ修正利益」とは、当期純利益に対し、市場の変動により会計上生じる一時的な評価性損益等を調整した経営実態を表す指標。

2. 海外関連会社における評価性損失等の計上

フォーティテュード社の第3四半期連結会計期間(2022年7月1日～2022年9月30日)において、主に米国金利上昇等に伴う会計上の一時的な評価性損失等を計上する見込みとなりました。そのため、当社の第3四半期連結会計期間(2022年10月1日～2022年12月31日)において、この評価性損失等を含め同社にかかる持分法による投資損失として370億円程度を計上する見込みとなります※。

フォーティテュード社にかかるグループ修正利益相当額として、当社の第3四半期連結会計期間(2022年10月1日～2022年12月31日)において20億円程度、累計期間(2022年4月1日～2022年12月31日)において190億円程度の利益を計上する見込みであり、同社にかかる当初想定に対し概ね順調な進捗となっております。

※フォーティテュード社の決算日は12月末であり、同社の第3四半期連結会計期間(2022年7月1日～2022年9月30日)の損益は、当社第3四半期連結会計期間(2022年10月1日～2022年12月31日)に反映されます。

(注) 上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報から得られた判断に基づいており、実際の業績は、様々な要因により記載の予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

以 上

【お問合せ先】

株式会社T&Dホールディングス 広報課 加藤・山本

(TEL: 03-3272-6115 / メールアドレス: tdhd.kouhou@td-holdings.co.jp)